吉野ヶ里町立東脊振小学校　学校だより　第１２号

# ひびきあい

学校教育目標
「やさしく かしこく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとする子ども」
の育成

令和8年10月2日 校長 重松 景二

**愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする**

**アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）**

## 秋らしい 天高く…



澄み渡る空はどこまでも高く、うろこ雲やすじ雲も見られるようになりました。朝晩も涼しくなり、秋らしい季節になりました。近年は、夏からいきなり冬になったかのように、いつまでも暑さが続いたかと思えば、急に寒くなっていましたが、今年は秋らしい季節を楽しめそうですね。改めて、秋の空は美しいと感じます。９月はシルバーウィークがあり、子供たちはゆっくりと休んで自分の楽しみを満喫したり、スポーツや文化的な活動に取り組んだりと、それぞれに充実した時間を過ごしたようです。先週から今週にかけては、夏休み明けのような雰囲気も感じられました。10 月は、スポーツの日を含んだ３連休があり、修学旅行やバス旅行も予定されています。子供たちにとって、楽しみが待っている月でもありますね。



## 宿泊自然教室　自然に親しむ・自主・成長…



９月 17 日、18 日の２日間、５年生が背振少年自然の家へ宿泊自然教室に行きました。晴れの日が続いていたのに、天気予報は雨。しかし、結局雨が降ったのは、自然の家を出てバスに乗り込むときだけでした。子供たちの祈りが天に届いたのでしょう。予定していた活動をすべて行うことができ、楽しく思い出に残る自然教室となりました。自然体験ビンゴでは、チェックポイントでヤドリギを見つけたり、沢でサワガニを見つけたりと、身近な自然に親しむことができました。キャンプファイヤーでは、これからの自分の目標について誓いを立てたり、班ごとの発表を楽しんだりしました。これまでにも何度かキャンプファイヤーを経験していますが、今回の盛り上がり具合は過去最高だったなと感じました。野外炊飯では、途中で火が消えたり、食べ終わった後の鍋や食器を洗うのに苦労したりする場面もありました。いざカレーライスを食べるときには、どの子もおいしそうに食べており、最高の笑顔を見ることができました。楽しく思い出に残るだけでなく、たくさんの学びを得た２日間だったと思います。自然に親しみながら、自分で考えて行動すること、そして、仲間と協力することの大切さを学びました。今回の自然教室を通して、５年生がまた一つ成長することができたのではないでしょうか。



## 折り返し　節目に思うことは…

９月が終わり、学校も折り返し地点を過ぎました。大きな節目ですので、全校朝会では、次のような話をしました。「学校も折り返し地点まで来ました。折り返し地点というと、マラソンが思い浮かびます。マラソンランナーは、折り返し地点で、これまでのレースを振り返り、これからのペース配分や、誰を目標にするのか、どのくらいのタイムを目指すのかなど、作戦を立て直すそうです。学校でも、学校目標や学年目標、学級目標、そして一人一人の目標を立てています。これまでの自分を振り返り、できるようになったことや、もう少し頑張りたいことを考えてみましょう。そして、目標や夢に向かって、これからどんなことを頑張っていくのか、自分なりの作戦を立て直してほしいと思います。」

４月からの半年間を振り返ってみると、子供たちは、学習や行事、友達との関わりなど、さまざまな経験を通して、一人一人が成長してきました。中には、思うようにいかなかったことや、もう少し頑張りたかったこともあるかもしれません。しかし、それもこれからの自分を考えるための大切な経験です。10 月からは、今年度の後半が始まっています。これまでにできるようになったことを自信にしながら、もう一度自分の目標を見つめ直し、新たな気持ちで一歩を踏み出してほしいと思います。子供たちの成長が楽しみです。